TOTO

化粧鏡

一面鏡： LMSML075 ～120A1G・LMSML090S1G・LMSML075 ～120B1G 型
二面鏡（木製サイド収納）： LMSML075 ～120A2 型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1.安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
  紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

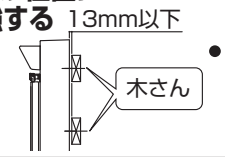
⚠ 警告

禁止
- **浴室など湿気の多い場所へ設置しない**
  漏電により感電するおそれがあります。
- **電源コードを傷つけない**
  漏電および火災の原因になります。
- **コンセントは化粧鏡の裏面には設置しない**
  化粧鏡が落下する原因になります。
  また、トラッキングによる火災の原因になります。

必ず実行
- **電源はAC100Vを使用する**
  AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。

⚠ 警告

必ず実行
- **水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う**
  火災や感電および水漏れの原因になります。
- **鏡固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する**
  化粧鏡が落下し、けがをするおそれがあります。



- **電源コードを傷つけないようにコード取出用切欠部より取り出す**
  電源コードを傷つけたり、壁との間に挟み込むと発熱や発火の原因になります。
  電源コードを壁との間に挟み込むと商品にゆがみが発生し、扉のゆがみなど、商品に悪影響を及ぼす原因になります。
- **取り付け後、全てのねじが確実に固定されていることを確認する**
  商品が落下しけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

禁止
- **現場で鏡の加工をしない**
  鏡が破損しけがをするおそれがあります。
- **鏡をカウンターや壁などにぶつけない**
  鏡が破損し、けがをするおそれがあります。

必ず実行
- **鏡開梱時、取り付け時は鏡専用吸着盤を使用する**
  鏡専用吸着盤を使用しないと手を挟み込んだり、鏡のエッジでけがをするおそれがあります。
- **ミラーマットの取り付けは、手順にしたがって確実に行う**
  取り付け方法に不備があると、鏡に力がかかった時、鏡が破損し、けがをするおそれがあります。
- **鏡取り付け時、鏡と壁との間にはすき間（5㎜）を設ける**
  壁がひずんだ場合、鏡に力がかかり、鏡が破損してけがをするおそれがあります。



- **開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する**
  木枠、釘および締め付けバンドなどでけがをするおそれがあります。
  また、ビニール袋などは子供がかぶって遊び、思わぬ事故につながる原因となります。

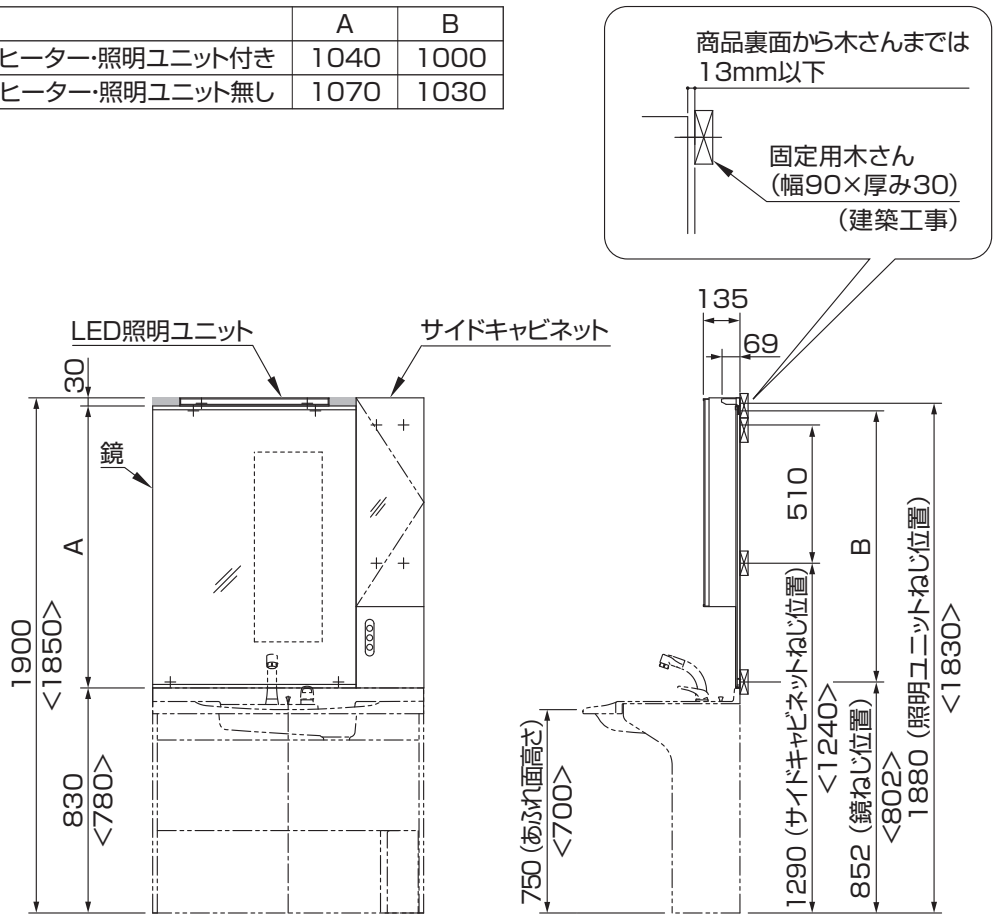
2.設置寸法

- 鏡上部には設置上25㎜以上の空間を確保してください。
  （取り付けの際、鏡止め金具が上にずれる必要があります。）
- サイドの壁仕上げ面より5㎜以上のすき間を確保してください。
- LED照明が付く場合は　　の部分が壁仕上げされていることを確認してください。
- タイル壁の場合は鏡の壁下地は壁タイルと面位置を合わせるように仕上げてください。
- ＜　＞寸法はあふれ面高さ700mmの場合です。

【エンドパネル式・二面鏡の場合】

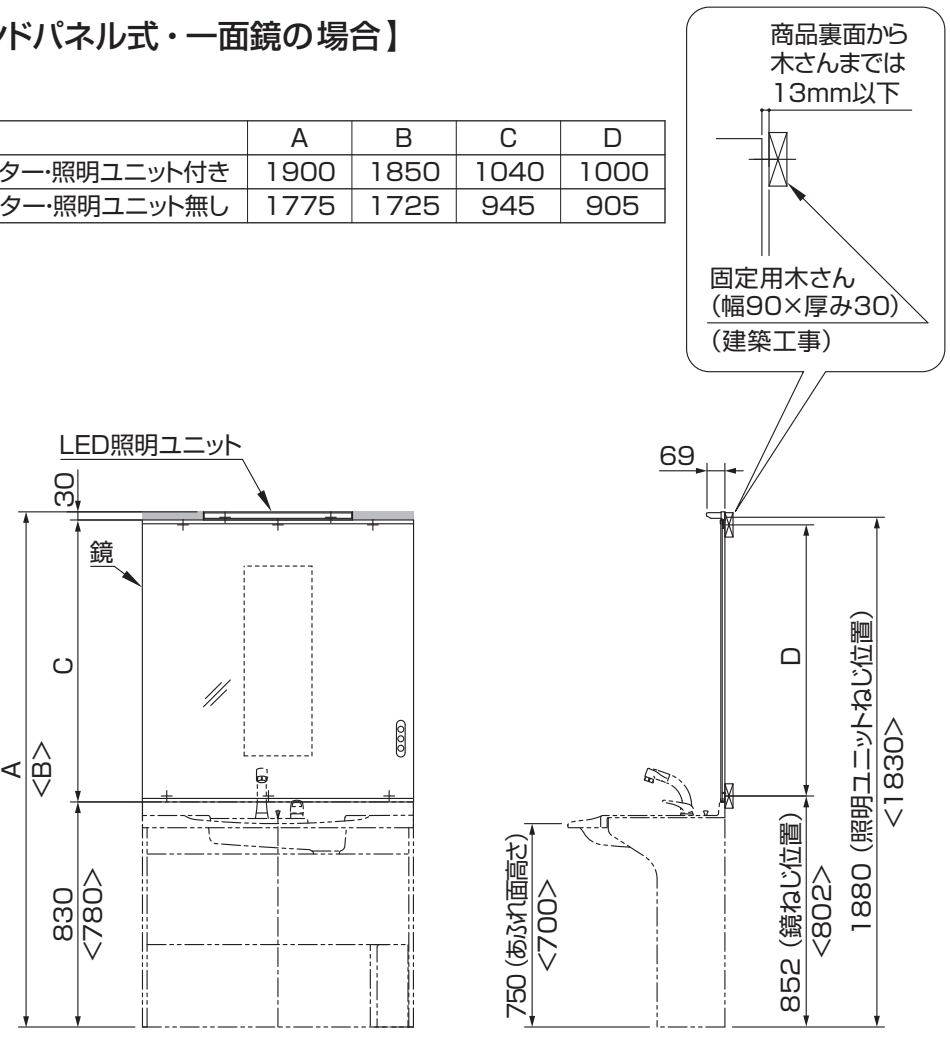
※図は右仕様を示します。

	A	B
ヒーター・照明ユニット付き	1040	1000
ヒーター・照明ユニット無し	1070	1030

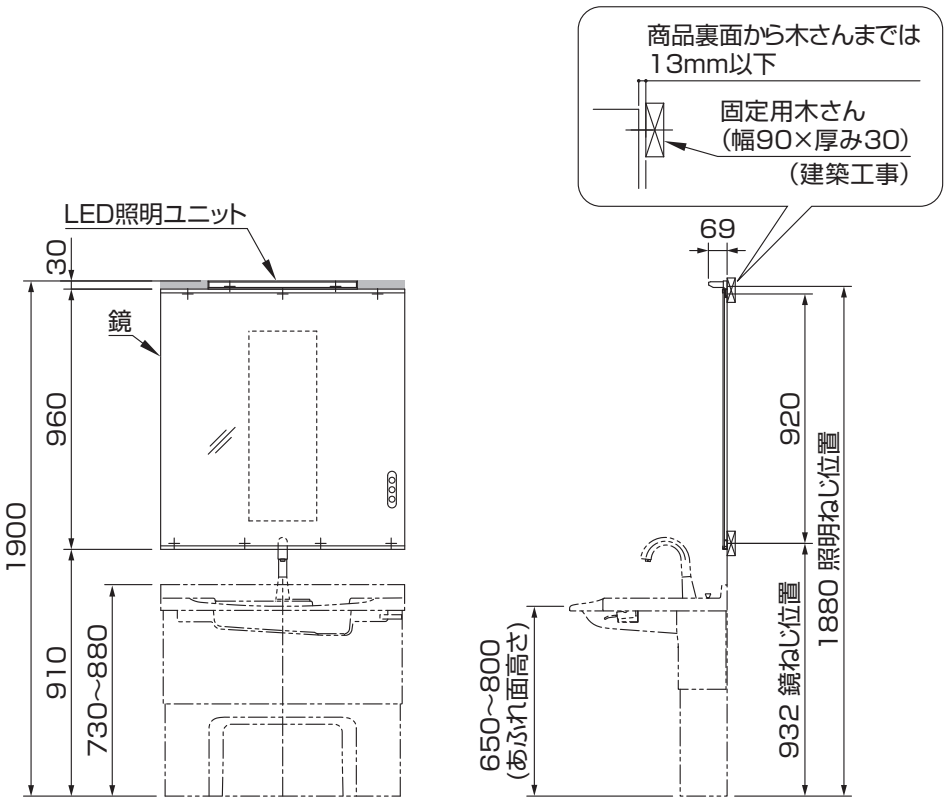


【エンドパネル式・一面鏡の場合】

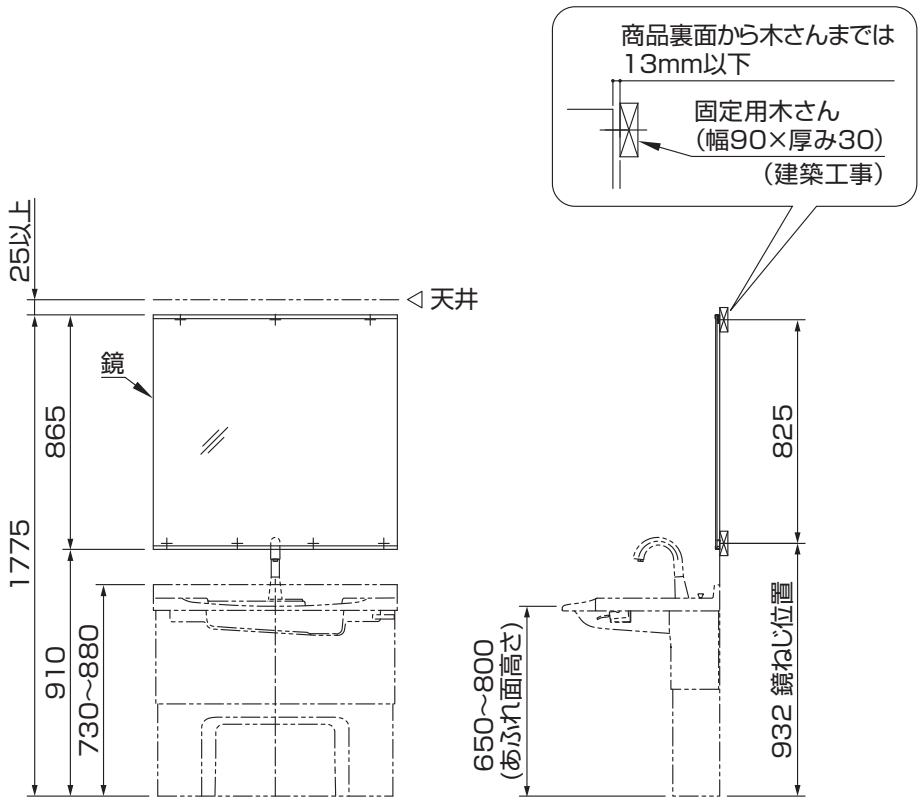
	A	B	C	D
ヒーター・照明ユニット付き	1900	1850	1040	1000
ヒーター・照明ユニット無し	1775	1725	945	905



【昇降式・一面鏡（ヒーター、照明ユニット付き）の場合】



【昇降式・一面鏡の場合】



【エンドパネル式の場合】

	照明	ヒーター	セット品番	化粧鏡	照明ユニット	サイドキャビネット
一面鏡	—	—	LMSML075～120B1GGG型	LMML075～120B1GGG型	—	—
	○	○	LMSML075～120A1GLH型	LMML075～120A1GLH型	LHML055GGL型	—
二面鏡	—	—	LMSML075A2L/RGG型	LMML055A1GGG型	—	LYML020MGL/R型
			LMSML090A2L/RGG型	LMML070A1GGG型	—	
			LMSML100A2L/RGG型	LMML075A1GGG型	—	LYML025MGL/R型
			LMSML120A2L/RGG型	LMML095A1GGG型	—	
	○	○	LMSML075A2L/RLH型	LMML055A1GLL/R型	LHML055GGL型	LYML020MPL/R型
			LMSML090A2L/RLH型	LMML070A1GLL/R型		
			LMSML100A2L/RLH型	LMML075A1GLL/R型		LYML025MPL/R型
			LMSML120A2L/RLH型	LMML095A1GLL/R型		

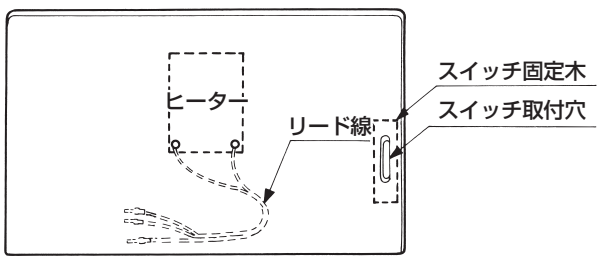
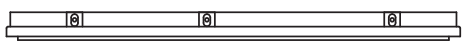
【昇降式の場合】

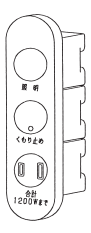
照明	ヒーター	セット品番	化粧鏡	照明ユニット
—	—	LMSML090S1GGG型	LMML090S1GGG型	—
○	○	LMSML090S1GLH型	LMML090S1GLH型	LHML055GGL型

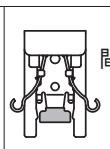
3. 化粧鏡品番明細

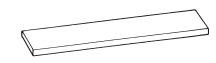
4. 付属部品明細

【大型一面鏡】

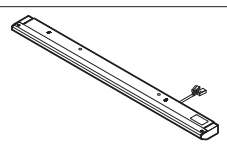
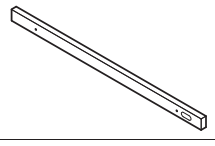
	名称		数量
1	鏡（12.5kg/m2）	 ※本図はヒーター付きタイプを示します。	1枚
2	上フレーム（切欠き付き、固定ゴム付き）		1個
3	下フレーム（緩衝用ライナー付き、クッション付き）		1個

照明・ヒーター付きの場合			
	名称		数量
1	照明・くもり止めスイッチ付きコンセント		1個
2	スイッチ固定用タッピンねじ（φ3.5×20）		2本
3	リード線	LMML***A1GLH型 1本 LMML***A1GLL/R型 2本 LMML***S1GLH型 1本	適数
4	コネクタ	 LMML***A1GLL/R型のみ	1個

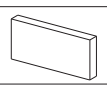
	名称		数量
4	鏡止め金具（ゴム付）	 間口 550･700･750 2個 900･950･1000 3個 1200 4個	適数
5	ミラーマット（片面接着仕様）	 間口 550～1000 8個 1200 13個	適数
6	サイドミラーマット（両面接着仕様）	 幅:10㎜	2個

	名称		数量
7	調整用ライナー（13×200、t=1）		1個
8	丸木ねじ（φ3.8×32）	昇降式（LMML090S型） 7本 エンドパネル式 間口 550･700･750 4本 900 5本 950･1000 6本 1200 8本	適数
9	組立･設置説明書		1冊

【LED照明ユニット】

	名称		数量
1	LED照明		1本
2	アングル		2個
3	支持板		1本
4	アングル固定用トラスタッピンねじ（φ4×45）		2本
5	LED照明固定用バインド小ねじ（M3×8）		2本

【サイドキャビネット】

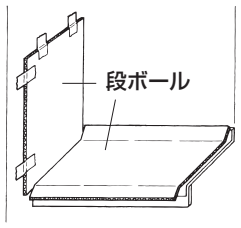
	名称		数量
1	化粧板		1枚
2	支持金具		4個
3	化粧キャップ	間口 200 2個 250 4個	適数
4	支持金具固定用皿タッピンねじ（φ3.5×12）		8本
5	化粧板固定用なべタッピンねじ（φ4×12）		2本
6	壁固定用座付きタッピンねじ（φ5.2×55）	 間口 200 2本 250 4本	適数

5. 設置上のご注意

- 鏡を取り付ける前に壁面裏側に補強木が取り付けられていることを確認してください。
- カウンターおよび壁面（片側）は梱包段ボールで保護してください。

⚠ 注意

右図のように保護する
鏡に傷が付く原因になります。
必ず実行



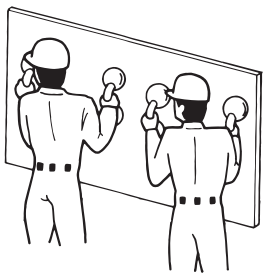
- 鏡をおく時は図のように立てかけ必ず床に緩衝材（段ボール）を敷いてください。
  ※段ボールが滑らないようにしてください。



- 鏡の取り付けには鏡専用吸着盤をご用意ください。
  工具店、ホームセンターにてお買い求めできます。


鏡専用吸着盤

- 鏡の質量は12.5kg/㎡ですから
  持ち運びの際は十分ご注意ください。
  また、取り付けは、2人作業で行ってください。



- 現場で鏡の加工をしないでください。
  ※鏡が破損したり腐食の原因になります。
- サイドキャビネットを先に取り付ける場合は、
  9.サイドキャビネットの取り付け へ

6. 取り付け条件

- 化粧鏡を取り付ける壁面はクロス貼りなどの仕上げをする
  ※三方壁に設置する場合は、商品間口に対して5mm以上のクリアランスを確保してください。
  さらに、ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決めてください。

⚠ 警告

- **化粧鏡は必ず壁に設置する**
  （窓の前などに設置できません。）
- **化粧鏡の壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れる**
  （木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。）（建築工事）
  ※コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ（引抜き強度：1,000N以上/本）を打ち込んでおいてください。プラグは壁固定用ねじに合わせて現場にて準備してください。
  （プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）
  商品が落下し、けがをするおそれがあります。
  必ず実行

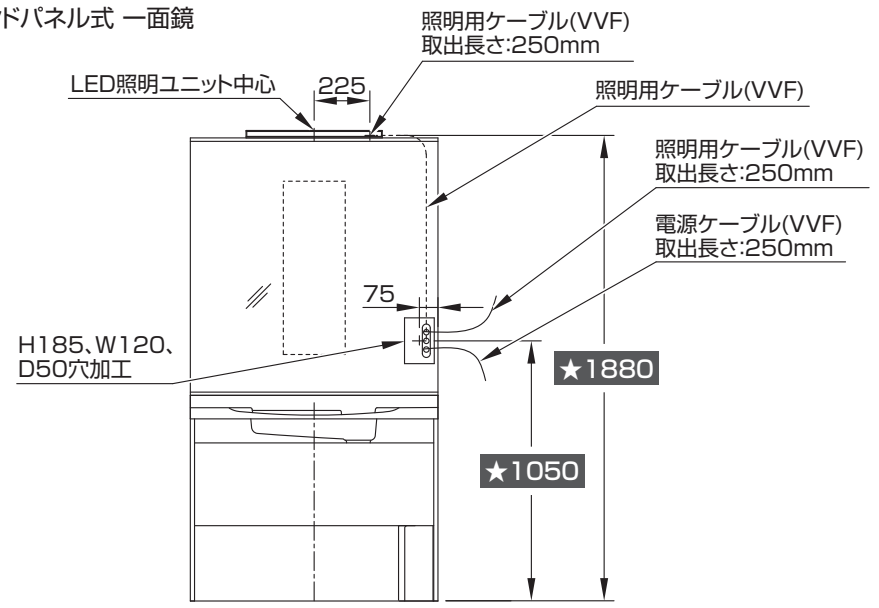
電気工事

【LED照明、ヒーター付きの場合】

1 ケーブル（VVF）取り出し位置

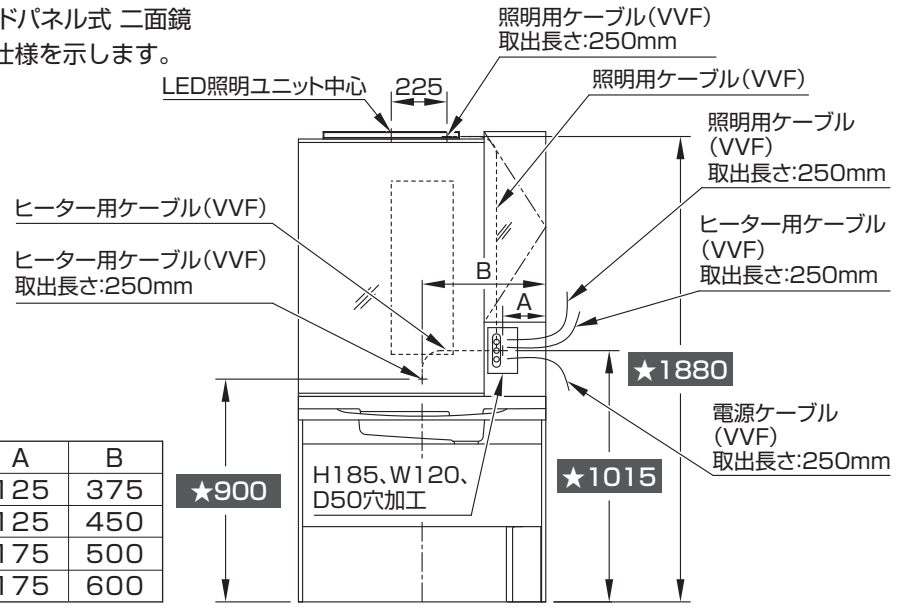
- 照明用ケーブル（VVF）を所定の位置に取り出してください。（図1～3）
  〈照明接続用ケーブル（VVF）取り出し位置〉
  ・LED照明中心から、右に225mm位置（幅方向）
  ・上フレーム上端位置（高さ方向）+10mm

図1 エンドパネル式 一面鏡



★印の寸法は、あふれ面高さ750の場合です。あふれ面高さ700の場合は★印の寸法に−50してください。

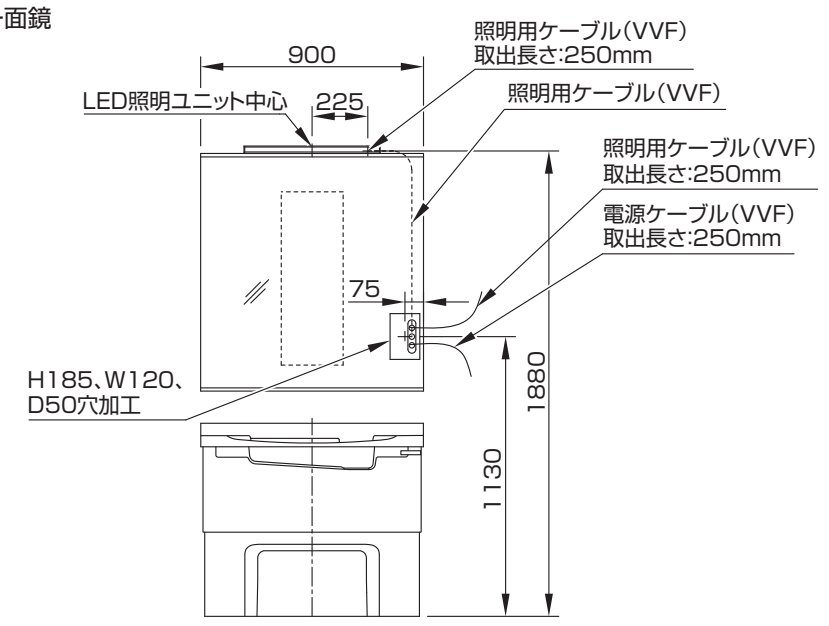
図2 エンドパネル式 二面鏡
※ 図は右仕様を示します。



間口	A	B
750	125	375
900	125	450
1000	175	500
1200	175	600

★印の寸法は、あふれ面高さ750の場合です。あふれ面高さ700の場合は★印の寸法に−50してください。

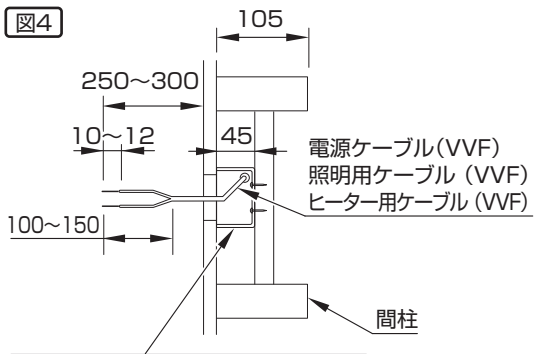
図3 昇降式 一面鏡



2 ケーブル（VVF）取り出し要領

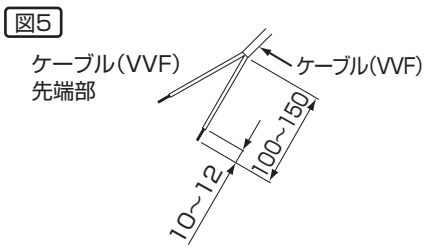
- スイッチが埋込式となる為、アウトレットボックスを設けてください。（図4）
- 各ケーブル（VVF）を所定の位置に取り出してください。
  （必ず電気工事店にて、工事してください。）（図5）

図4



現場手配
中型四角アウトレットボックス サイズ184×119×44 パナソニック電工-DS4913相当品

図5



7.取り付け前の確認

- サイドキャビネットを先に取り付ける場合は、**9.サイドキャビネットの取り付け** へ
  ※照明・ヒーター付きの場合は鏡を先に取り付けてください。**8.取り付け手順** へ

8.取り付け手順（番号順に取り付けてください。）

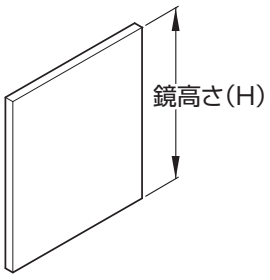
1 鏡止め金具及びフレームの取り付け

⚠ 注意

必ず実行

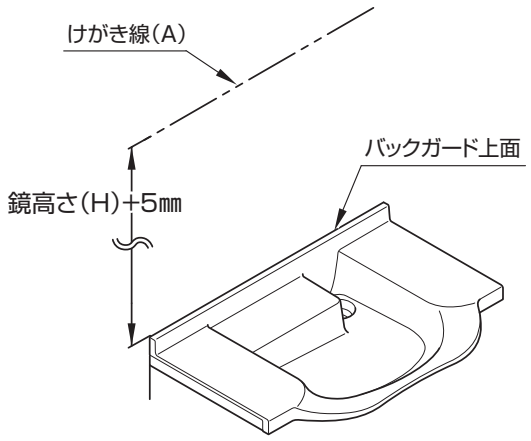
- **鏡止め金具及びフレームの取り付けは、手順にしたがって確実に行う**
  取り付け方法に不備があると、鏡が落下し、けがをするおそれがあります。
- **鏡止め金具・フレームは真っすぐに取り付ける**
  取り付けが不安定になり、落下してけがや重大事故の原因になります。

❶ 鏡高さ(H)を測定する

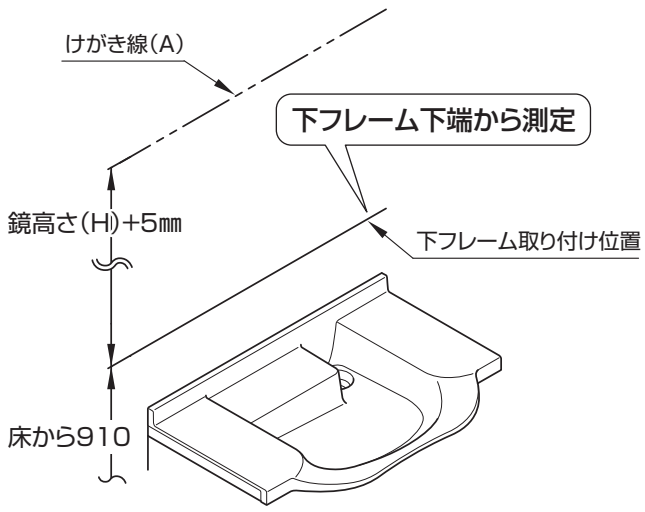


❷ 鏡高さ(H)+5㎜の位置にけがき線（A)を引く

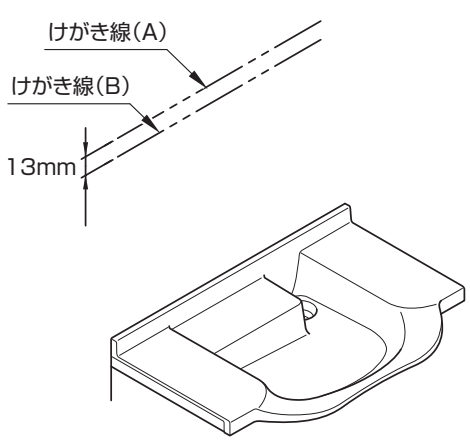
【エンドパネル式の場合】



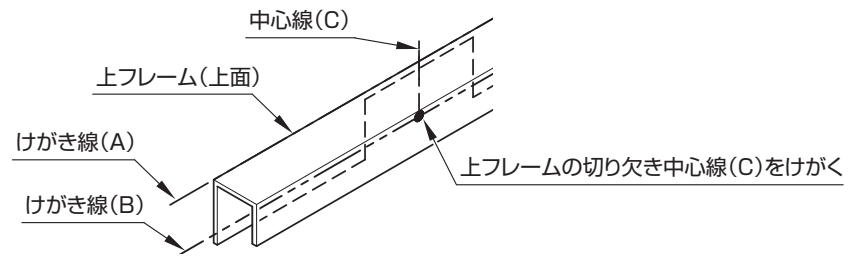
【昇降式の場合】



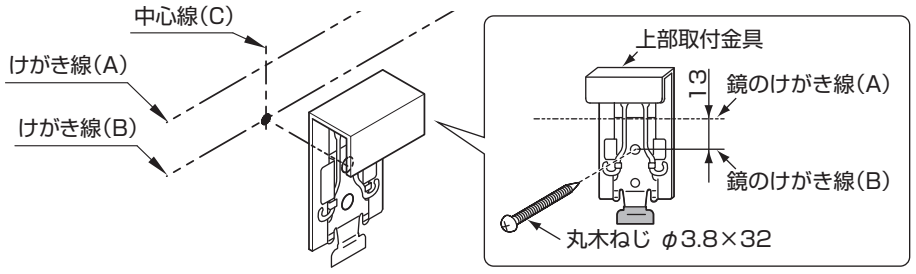
❸ けがき線（A)位置から13mm下にけがき線（B)を引く



❹ けがき線（A)に上フレーム（上面）を位置合わせし、
切欠き部の中心線（C）をけがく

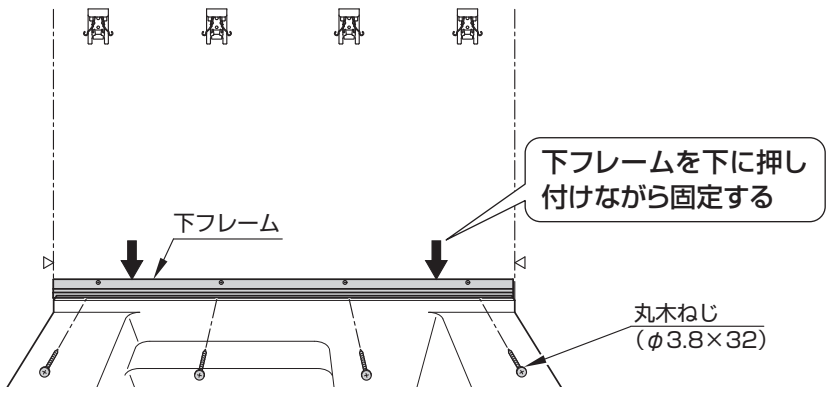


❺ けがき線（B)、中心線（C）の位置に鏡止め金具を固定する

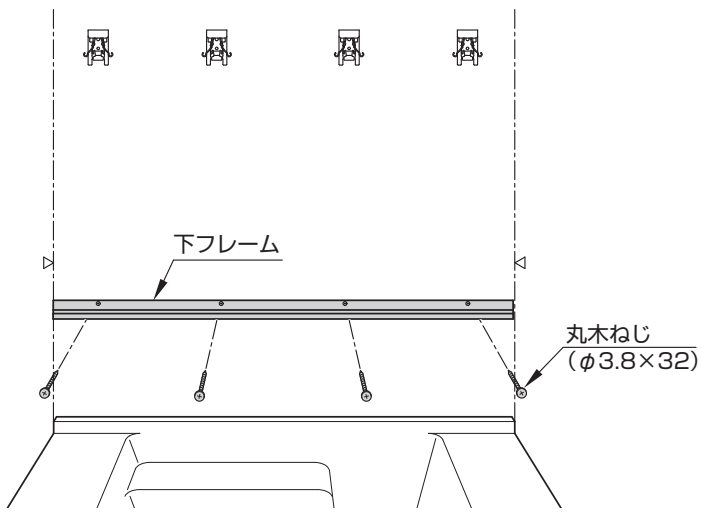


❻ 下フレームをカウンターの立ち上がりに合わせて、
片側の端から順番に丸木ねじで固定する
※間口により本数が異なります。

【エンドパネル式の場合】



【昇降式の場合】



❼ 壁のゆがみによりフレームが真っすぐに取り付けられない場合は、
壁とフレームの間にライナー（現場調達）を入れて調整する

裏面に続く ➡

8.取り付け手順(番号順に取り付けてください。)(つづき)

2 ミラーマット・サイドミラーマットの取り付け

⚠ 注意

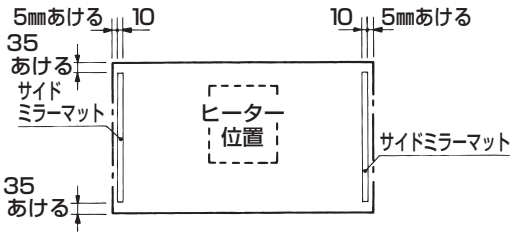
必ず実行

ミラーマットの取り付けは手順にしたがって確実に行う
取り付け方法に不備があると鏡に力がかかった時、鏡が破損し、けがをするおそれがあります。

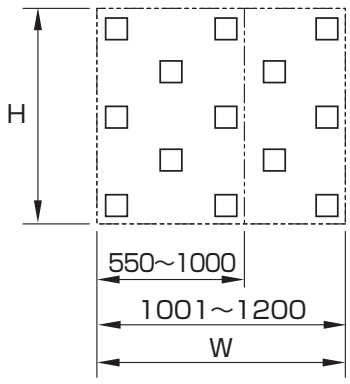
❶ 壁面は空ぶきし、汚れ、水、油の付着を落とす

❷ 壁面へヒーター位置をけがく(ヒーターサイズ700㎜×250㎜)
※ヒーターなしの場合はけがきは不要です。

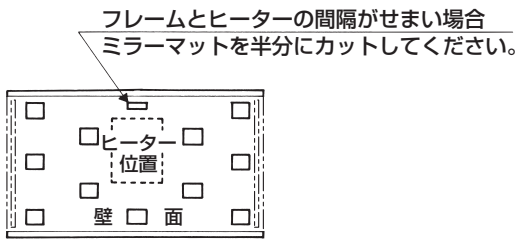
❸ 鏡裏面にサイドミラーマットを下図の要領にて貼り付ける
※ サイドミラーマットの取り付けをされないと、鏡のひずみの原因となります。



❹ ミラーマットを下図の要領で壁面に貼り付ける
※ヒーター付きの場合は、ヒーター位置をよけて、貼り付けてください。



(例)【1200×1040ヒーター付きの場合】



MEMO

3 鏡の取り付け

⚠ 注意

禁止

鏡をカウンターや壁などにぶつけない
鏡が破損し、けがをするおそれがあります。

必ず実行

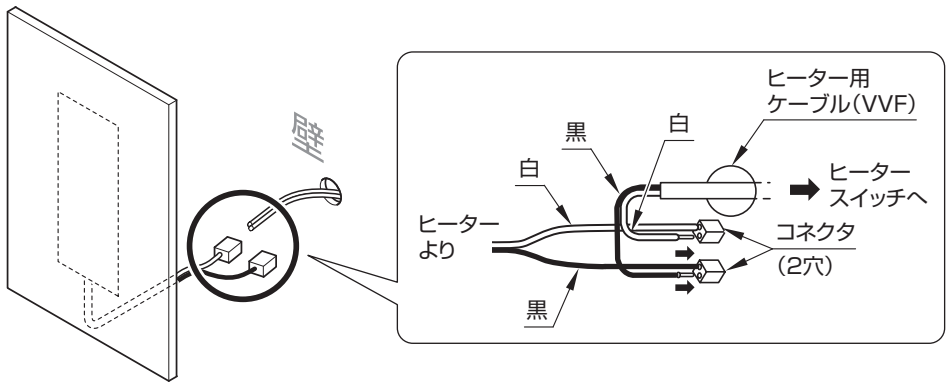
鏡取り付け時は鏡専用吸着盤を使用する
鏡専用吸着盤を使用しないと手を挟み込んだり、鏡のエッジでけがをするおそれがあります。

【照明、ヒーター付きの場合】

※ あらかじめヒーター、照明、電源コードをスイッチ取り付け穴から、鏡の表側へ取り出しておいてください。

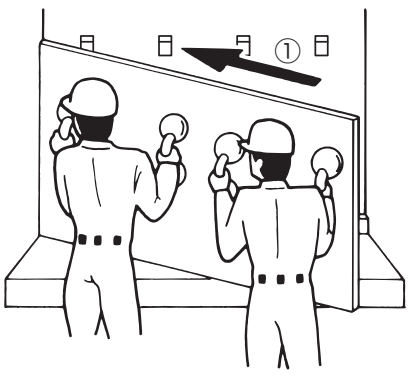
【スイッチがサイドキャビネットに付く場合】

❶ ヒーターのコネクタにケーブル(VVF)を差し込む

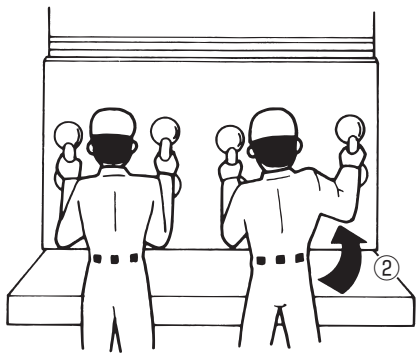


❷ ケーブル(VVF)を壁穴に戻しながら、鏡を取り付ける
※ コネクターは壁穴には入れず、鏡裏に納めてください。

【両サイド壁の場合】

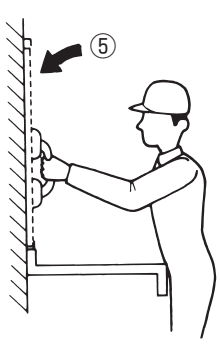


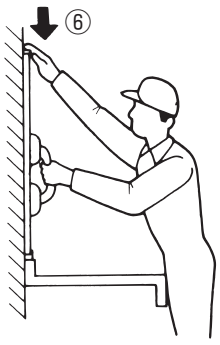
※ 壁にあたらないよう斜めに差し込んでください。





※ 下フレームに鏡を差し込みます。





※ 鏡止め金具を下げます。

4 鏡の調整

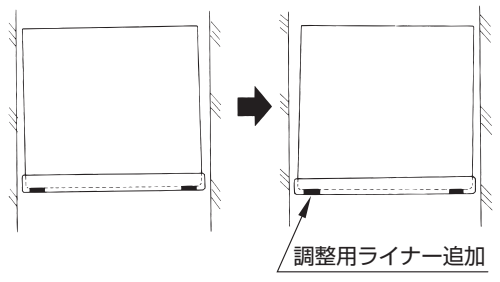
⚠ 注意

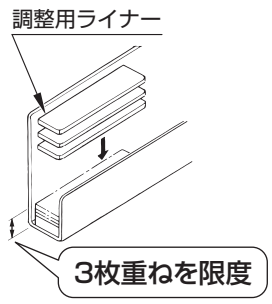
必ず実行

- **鏡の取り付けは、手順にしたがって確実に行う**
  取り付け方法に不備があると、鏡が落下し、けがをするおそれがあります。
- **鏡取り付け時、鏡と壁との間にはすき間を設ける**
  壁がひずんだ場合、鏡に力がかかり、鏡が破損してけがをするおそれがあります。

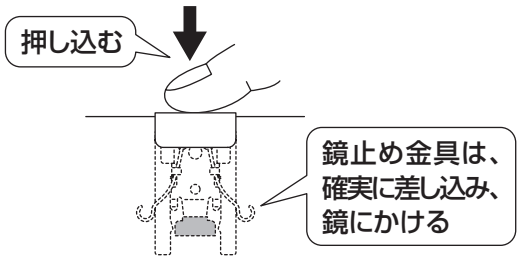
❶ 壁とのすき間を確認する

※すき間が均一でない場合には調整用ライナー（1㎜厚）を30㎜程度切り、重ねてはめ込み調整します。
※調整用ライナーは、3枚重ねを限度としてください。
※ライナーは左右にずらすことでも高さの微調整は可能です。
※分割鏡の場合も同様に各々の鏡についてライナー厚の調整をします。



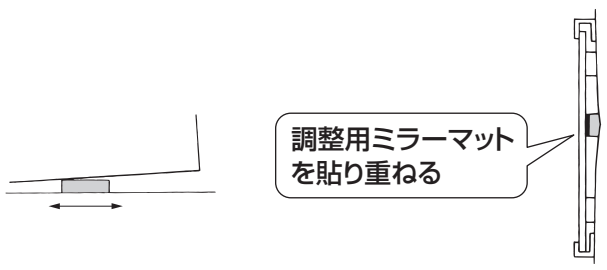


※鏡止め金具は、確実に鏡にかかるまで差し込んでください。



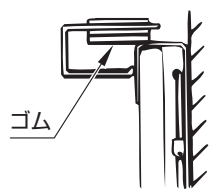
❷ 鏡のゆがみがないか確認する

※壁の不陸により鏡が凹面にゆがむ場合はミラーマットで調整してください。

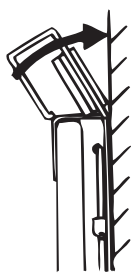


5 上フレームの取り付け

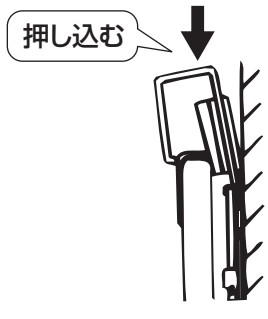
❶ 鏡と上フレームの左右を合わせる 鏡の端部へ上フレームのゴム部を 水平に当てる

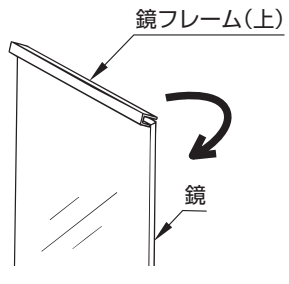


❷ 上フレームを壁面と鏡裏面との間へ 回しこむようにして入れる



❸ 上フレームを下方へカチッと音がするまで押し込む





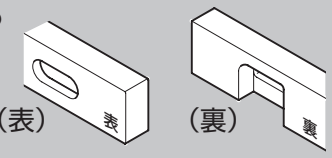
6 LED照明ユニット（LHML055GGL型）の取り付け

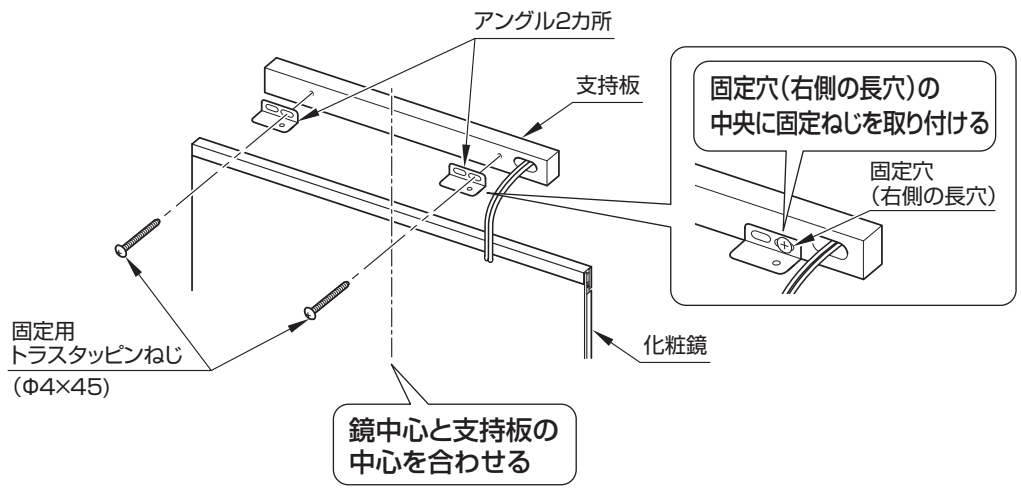
❶ 支持板及びアングルを壁に固定する

※ケーブル（VVF）を支持板の長穴から取り出しておいてください。

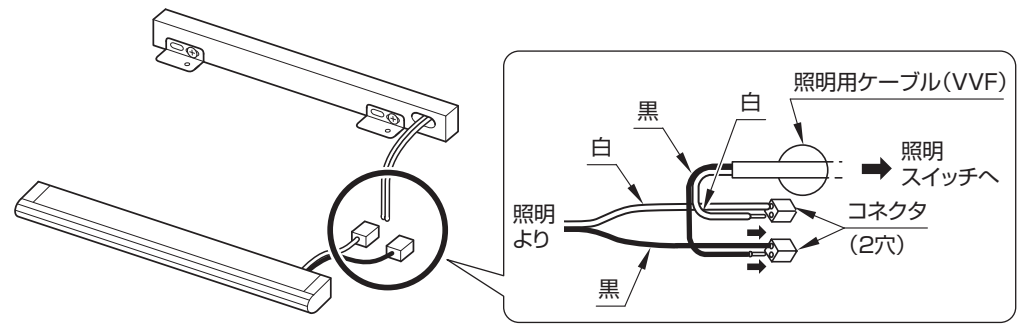
重要

支持板の取り付け方向に気をつける
※切り欠いている面が裏になります。



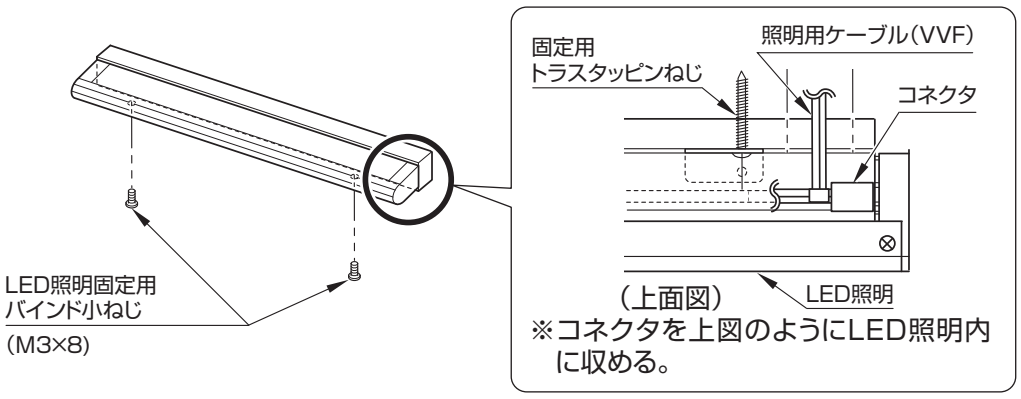


❷ LED照明のコネクタにケーブル（VVF）を差し込む



❸ ケーブル（VVF）を壁穴に戻しながら、LED照明をアングルに差込みねじで固定する

※コネクタが照明器具内に収まるようにしてください。



MEMO

9. サイドキャビネットの取り付け

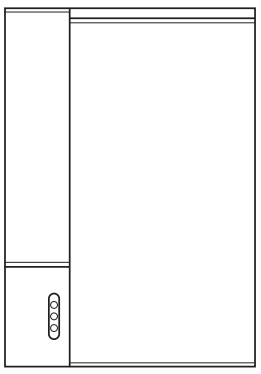
1 鏡扉の取り外し

- キャビネットの取り付け完了後、元に戻してください。
  ※鏡扉を外したあとは、段ボールなどを敷き、置いてください。

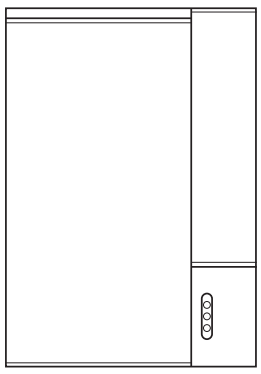
5 鏡扉の着脱・調整 参照

2 化粧板の取り付け

【左仕様の場合】

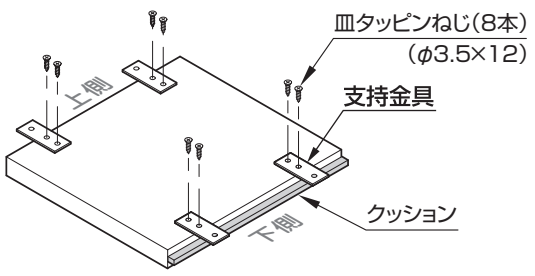


【右仕様の場合】

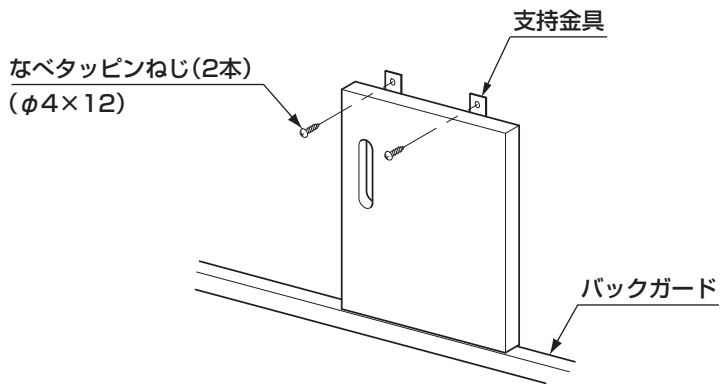


※本図はスイッチ付きタイプを示します。

❶ ねじで支持金具を固定する



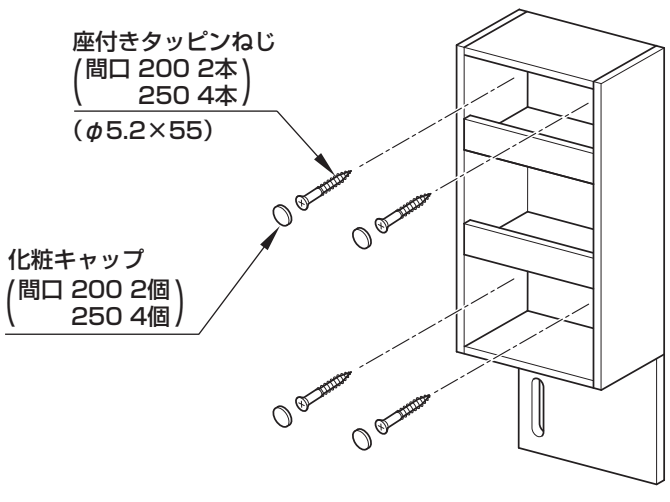
❷ 化粧板をバックガードの上にのせる
※右仕様と左仕様で上下が異なります。クッションが底面にくるように設置してください。



❸ ねじで化粧板を固定する

3 サイドキャビネットの壁固定

❶ 座付きタッピンねじで壁に固定する



❷ 座付きタッピンねじに化粧キャップを取り付ける

4 棚板の取り外し

⚠ 注意

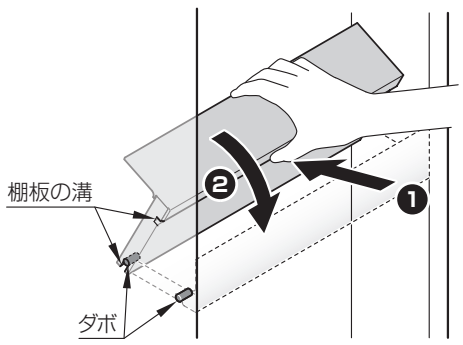
必ず実行

棚受けダボは棚板の溝に確実に差し込む
収納物や棚が落下しけがをするおそれがあります。

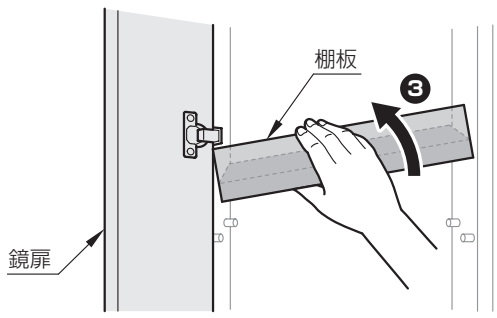
〈取り外しかた〉

❶ 棚板の手前を持ち上げる

❷ 鏡扉に当たらないように、棚板を手前に引き、奥の棚受けダボから外す



❸ 鏡扉に当たらないように、棚板を傾けて手前に引く

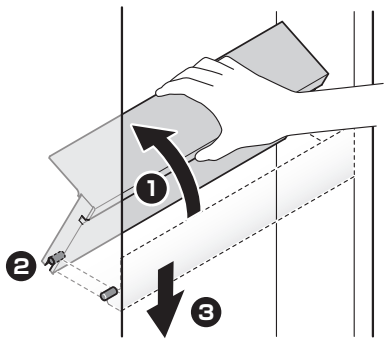


〈取り付けかた〉

❶ 鏡扉に当たらないように、棚板を傾けて本体に取り付ける

❷ 本体奥の棚受けダボに棚板奥の溝を差し込む

❸ 本体奥の棚受けダボに棚板底面の溝を差し込む



5 鏡扉の着脱・調整

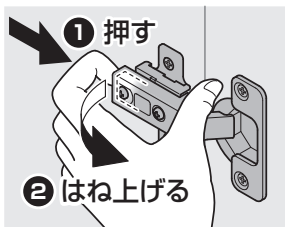
重要
扉取り付け後は、扉と扉の左右上下のすき間が均等、扉表面が面一となるように調整する

⚠ 注意

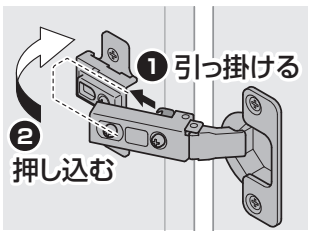
必ず実行

扉と引き出しの調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

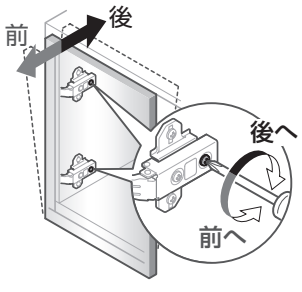
〈取り外しかた〉



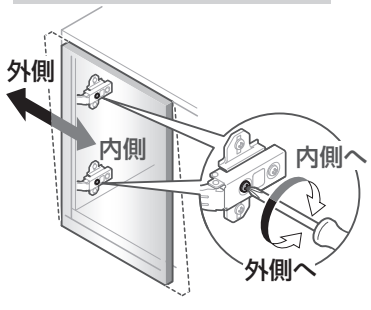
〈取り付けかた〉



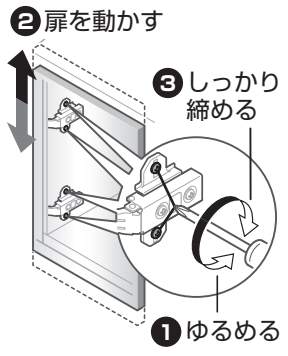
〈前後の調整〉
左扉も右扉も右回しで後へ、左回しで前へ動きます

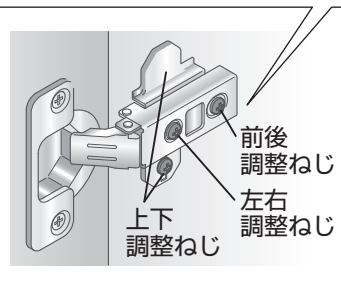


〈左右の調整〉
左扉も右扉も右回しで内側へ、左回しで外側へ動きます



〈上下の調整〉



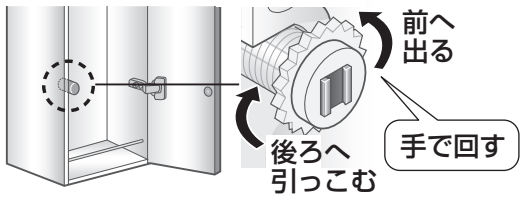


6 プッシュラッチの調整

【押しても開かない/すぐに開いてしまう場合】

〈前後の調整〉

※扉が開かないときは、
左に回してください。



10. スイッチの取り付け

1 リード線およびケーブル(VVF)とスイッチの接続(スイッチ付きのみ)

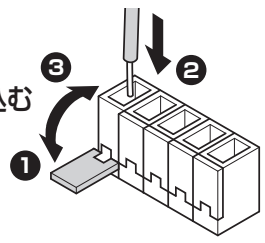
⚠ 注意

必ず実行 **電気配線工事は関連する法令・規則にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行う**
火災や感電をするおそれがあります。

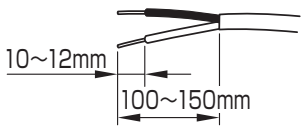
- リード線およびケーブル(VVF)とスイッチとの接続は下図の要領にて接続してください。
- リード線およびケーブル(VVF)は奥まで確実に差し込んでください。
(必ず電気工事業者にご依頼ください。)

〈ワンタッチコネクターの接続〉

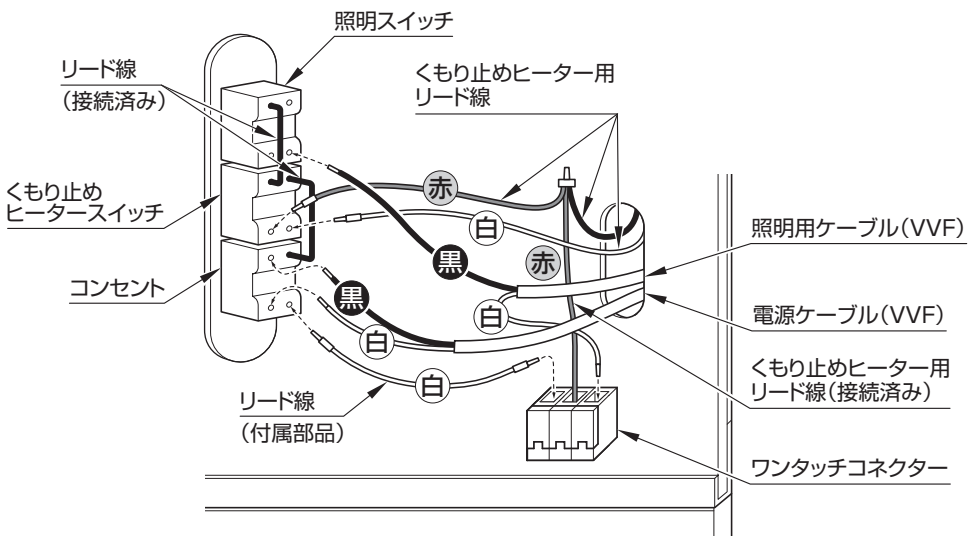
❶ レバーを下げる
❷ ケーブル(VVF)を差し込む
❸ レバーを上げる



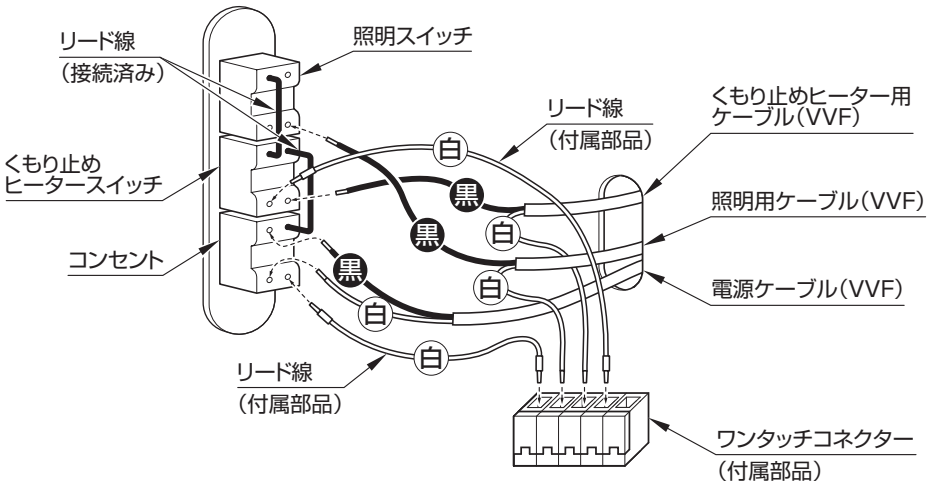
〈ケーブル(VVF)の処理〉



【スイッチが鏡に付く場合】



【スイッチがサイドキャビネットに付く場合】



2 スイッチの取り付け(スイッチ付きのみ)

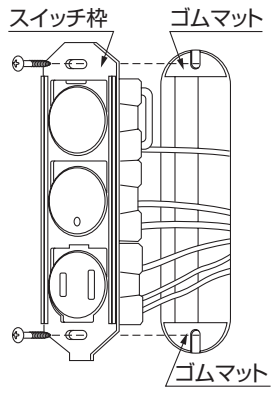
❶ スイッチ本体より表側のプレートを外す
※左右にこじれば、プレートは外れます。

❷ リード線およびケーブル(VVF)をアウトレットボックス内に確実に納めて
スイッチの上下方向を確認し、スイッチ固定ねじにて取り付ける

重要
ねじの締め付けには、電動ドライバーは絶対に使用しない
※ねじを強く締めすぎますと、鏡の破損の原因となります。

❸ ❶で外したプレートを、セットする
※この時、プレートの片側を先にはめ込み、もう一方を上
から順に3カ所ほど押してやれば簡単にセットできます。
※くれぐれも鏡面を強く押さないでください。

重要
**スイッチ枠が鏡面に接した時点で
ねじの締め付けを止める**



※図は照明・コンセント付きスイッチになります。

3 接続完了後の確認

重要
照明スイッチの通電確認は、照明ユニットをセット後、確認する

- くもり止めヒーターのスイッチを入れて、表示ランプが点灯すること、
約2~3分後に鏡の表面が暖かくなることを確認してください。
- 照明のスイッチを入れて照明が点灯することを確認してください。
- コンセントにドライヤーなどを差し込んで通電するか確認してください。

11. 取り付け完了後の確認と清掃

確認1 商品が壁に確実に固定されていますか?

確認2 照明が点灯しますか?

確認3 棚板が確実にセットされていることを確認してください
棚板が確実に装着されていない場合、鏡扉が閉じません。

確認4 鏡扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
鏡扉が確実に閉まりますか?
鏡扉の傾き·がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
調整要領は、「9-5 鏡扉の着脱·調整」を参照ください。

清 掃 汚れは付いていませんか?
(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)
❶ぬれた布をかたくしぼってふき取る
❷次に、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げる
❸仕上げに、からぶきをする

重要
**有機溶剤(シンナー・アセトンなど)の使用は表面の変色・変質の
原因になりますので、絶対に使用しない**

その他 直射日光にさらされてませんか?
直射日光にさらされる場合・・・必ずカーテンなどで遮ってください。